

@幸せな贈り物



“Still you!” → “Still me!” 20 世紀で最も広く尊敬される人物のひとりに選ばれたヘレン・ケラーに尋ねました。「目が見えない視覚障害者と、耳が聞こえない聴覚障害者の中で、どちらがもっと哀れだと思いますか」ヘレン・ケラーの返事は全く意外なものでした。「視力を失って視覚障害者になったり、聴力を失って聴覚障害者になった人が哀れなのではなく、正常な肉眼を持っていてもビジョンがない人が哀れな人です…」

アメリカの 26 代大統領で、ノーベル平和賞受賞者であるルーズベルトは、幼い時期の小児麻痺と喘息の深刻な苦しみを味わったのですが、後にこのように告白しました。「難しいことが続くとき、私はむしろ新しい希望を抱くようになった。苦しみの中で鍛錬という貴重な宝物を見つけたからだ」このように、最高の苦しみを最高の機会にすることができた決定的な理由は、お父さんの激励のおかげでした。ルーズベルトが喘息と小児麻痺の苦痛で最高に苦しんでいたとき、お父さんは、このように息子を励ましてくれました。「お前が持っている不自由なことは、単純な障害ではない。もしかしたら、神様がくださった贈り物であるかもしれない。その贈り物の意味をお前が探し出したら、お前はむしろ障害のために世の中の人々の注目を受けるようになって、歴史に記録を残す驚くべき生活を送れるんだよ」

ときには私たちにもある日突然、苦難が訪ねてきたりもします。アメリカのホワイトハウス国家障害委員会政策次官補を過ごした視覚障害者故カン・ヨンウ博士が残した本〈登れない山はない〉(いのちのことば社)で、映画“スーパーマン”の主演で有名なクリストファー・リーヴの感動的なストーリーを読むことができました。ハリウッドのスターとして名をはせた時期、1995 年乗馬を楽しんでいるときに落馬して、全身マヒの障害者になってしまいました。そのような彼が、どのようにそれ以後にさらに意味ある有名な生活を送るようになったのでしょうか。事故当時、スーパーマンのクリストファー・リーヴは「いっそ死んだほうが良い。このひどい格好でどのように妻子に会えるだろうか。彼らがかかる前に死んだ方が良い。しかし、私一人で動くこともできないのに、どのように死ぬというのか。こうなると分かっていたら、遺言状にどんな場合にも私には酸素呼吸器を使わないでくれと書いておいたのに…」と言いました。彼は家族の

同意があれば、全身のあちこちに生命を維持しようとしている点滴を抜けば死ねる運命にいたのでした。スーパーマンとして超人間的な力を発揮して危機に直面していた数多くの人を救い出したのですが、皮肉なことに、自分のためにできる行動は何もなかったのです。食べ物をかんで飲み込むこともできなくて、排せつをうまくすることもできなかつただけでなく、酸素呼吸器に依存しなくては呼吸さえできませんでした。彼は、お母さんにこのように生命を維持するより、いっそ酸素呼吸器をとって死ぬほうが良いという意味を表明して、お母さんが同意をしました。あとは妻のディナの同意を得れば、世の中の人々にこの醜い格好をこれ以上示す必要がないと思っていたとき、妻が病室に到着しました。クリストファー・リーヴはお母さんにした話を妻にまたしました。ところが、そのとき、妻のディナはこのように話しました。“Still you!”(まだ、あなたですよ!) 頭脳が生きている限りあなたはまだそのままあなたであるから、頼むから生きてくださいと話したのです。ディナのこの一言はスーパーマンをまた生かして、その後スーパーマンは超人間の領域にまた挑戦して、自分をマヒさせている“脊椎神経再生”に対する研究の土台を作り、全身マヒ障害者になった後、さらに多くの人に希望と勇気を与えるまた異なるスターになりました。

彼にこのように新しい人生が可能だったのは、死の前で人間の尊厳性に対する信仰と自分の存在価値をまた発見することがあったためだったとカン・ヨンウ博士は証言しています。彼は妻のその一言を忘れないで、ベストセラーになった彼の自叙伝のタイトルをこのように残しました。〈Still me!〉(まだ私です!)

カン・ヨンウ博士は、クリストファー・リーヴの人生を見ながら「10人中9人が私を捨てて、過小評価して蔑視しても、1人だけ私を理解して励ましてくれるなら、それでよいという考えで自信を回復した…神様は今日も生きて働いておられ、苦難と逆境は私たちの観点によって機会にもなって、祝福にもなる…私は障害にもかかわらず、ではなくて、障害を通して勝利した」と告白しました。

**私を生かす永遠な出会いのはじまり** 現代の包装された派手な文化、その裏面の隠された孤独の中に生きていく人々、その中で本当に見つけなければならぬことは何でしょうか。私を助ける、その愛の一言、私を肯定的に見るようにさせるその希望の一言、最も低いところに落ちて、もうこれ以上は降りて行けないと思える私の人生を導いて上げる、その永遠な手助けは、どこで見つけることができるのでしょうか。

聖書はある日突然、だれにでも訪ねてくる運命と同じ災いに対して、その原因と避ける道をこのように語っています。

魚が水の中に、鳥が空中で、木は地中に根をおろして生きなければならないように、神様とともに生きてこそまことの幸せを味わうように創造された人間の創造原理。しかし、暗やみの勢力(サタン)にだまされて、創造原理を抜け出して神様を離れた後、人間に訪ねてきた暗やみの人生のシナリオ。自分も知らないうちにサタンの支配を受けながら、理解できない霊的問題と、生年月日による運命がもたらす偶像崇拜によって苦しめられること、名前も分からない不安とむなしさ、不眠症とうつ病、背景も良くて、知識も多くて、お金も多いのに、押し寄せるむなしさとさまよい、結局、受けなければならない肉体の病氣と苦しみ、その中で繰り返される失敗と死んだ後に行かなければならない地獄の永遠の審判、そして、やむを得ず子どもの心に残して与えるしかない霊的な遺産と傷…。これがサタンという暗やみの勢力がもたらした人生の不幸なシナリオです。

はたして、人間自ら解決できるのでしょうか。それで、神様は人間の問題を解決してくださるために、救いの道を開いてくださいました。私たちが罪人であったときに「キリスト」を送って、人間の罪を負って十字架で死んで、復活されることによって、サタンの権威を打ちこわし、すべての罪と呪いを解決して、神様に会う道を開いてくださいました。(Iヨハネ3:8、マルコ10:45、ヨハネ14:6)この方がまさにキリストであるイエス様です。だれでもキリストとして来られたイエス様を信じて受け入れれば、直ちに神の子どもになります。このとき、はじめて私に近づいてきた苦しみと不幸を越えて、聖書に約束されたすべての神様の祝福が私に始まるのです。私の人生の最高に幸せな背景、人生のすべての問題の解決者であるイエス・キリストとともにいようになるのです。「あなたは大切な人です」

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ——

それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

(エレミヤ 29:11)

# 神の子どもの 力と権威を味わう祈り

生きておられる父なる神様、まことに感謝します。イエス・キリストは、私の人生のすべての問題の解答であり、私の生活の主人であることを信じます。イエス・キリストを通して神様に会う道を開いてくださって神の子どもの祝福を味わいながら生きようとしてくださったことを感謝します。神様を離れた原罪と呪い、災いの暗やみの勢力を打ちこわして、私を救ってくださったイエス・キリストをほめたたえます。今、この時間、祈る私に主の聖霊で満たして働いてくださり、私の肉体と家庭現場、産業現場、伝道現場、次世代現場、全世界の未来現場に神様の力が現れるようにしてください。そして、アブラハムのように祝福の根源として、イサクのように福音を味わう伝道者として、ヤコブのように祈りの答えの証人として、ヨセフのように世界福音化の主演として、堂々と立つことができますように。

●**霊力**-私の弱さをご存知で、限界を越える霊的な力で満たしてください。(使徒 1:8, イザヤ 40:31, 詩篇 18:1) 今この時間、私とすべての伝道者に自分と世の中と暗やみの勢力と戦って勝つことができる霊的な力を与えてください。私の霊力を邪魔して答えの門を防ぐすべての暗やみ、呪い、失敗の勢力は権威あるイエス・キリストの御名の前に崩れるように。

●**知力**-すべての人間主義と世の中の知識を越える神様の知恵で満たしてください。(箴言 2:6, ローマ 12:3) 今この時間、私とすべての伝道者に世の中のむだなだましごとと哲学に勝つ知恵を与えてください。私に神様の計画を見ないようにさせ、悟らないようにさせるすべての迷い、無知の暗やみの勢力は、権威あるイエス・キリスト御名で命じる。離れ去るように。

●**体力**-私が走って行く道と、主に受けた使命を果たしてあまりある体力で満たしてください。(ヨシュア 14:11) 今この時間、私とすべての伝道者に自分の弱さと病気に勝って、伝道運動を持続できる体力を与えてください。すべての弱気と病気と病魔の勢力は、権威あるイエス・キリストの御名によって命じる。離れ去るように。

●**経済力**-十分の一献金で教会を生かして、正しい教会建築で地域文化を生かして、宣教で世界をリードして、次世代運動で未来を生かす経済力を与えてください。(I 歴代 29:10~14, ピリピ 4:19, Ⅲヨハネ 1:2) 今この時間、私とすべての伝道者に全世界に向かって、思いきり福音をあかすことができる経済力を与えてください。私の現場のすべての貧困、呪い、失敗の勢力は権威あるイエス・キリストの御名で命じる。離れ去るように。

●**人材力**-福音と伝道のために準備されて、神の国を建てて行く人材を付けてください。(ローマ 16章, コロサイ 4章) 今この時間、私とすべての伝道者の歩みごとに祝福された弟子との出会いがありますように。人間関係の中で、私を倒すすべての暗やみの勢力は、権威あるイエス・キリストの御名によって命じる。離れ去るように。

ただ一度だけの人生、神様がくださる聖霊の満たしと5つの力を持って私の家庭、私の地域、私の産業現場、民族と世界を生かすキリストの弟子として神様に最高の栄光を帰すことができますように。

これらすべてのみことばをイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。



## 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 神様の子ども 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかさされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 冬が来る前に



季節が変わるのを一番最初に感じるのは皮膚だが、季節を受けるのは心だ。季節が変われば、主婦は家族らの服装の準備をして、冬の生活（越冬）のためのキムチ準備を急ぐ。ところで、女性はここにより増して、心の風邪だと言われる季節性うつ（SAD: Seasonal Affective Disorder）に陥る。短縮して SAD（英語で悲しいの意味）と書かれて、その状態が分かるのだが、このように苦しみを受ける人の 83% が女性だということは、特別な世話が必要なのだ。普通、季節性うつとは、季節により心が普段とは違い、沈んだり、ゆううさを感じる症状で、秋と冬にしばしば現れる。最も頻繁な季節性うつは、冬季うつで、無気力症候群とうつが続いて春になれば、症状が緩和される。季節の影響を受けるうつは、おもに無気力とともにくるのだが、たくさん食べて、甘い食べ物と糖分を求める。当然、患者はうつ期間の間、身体的にゆるむ感じを持つ。ひょっとして周辺にこういう方がいるなら、絶対に一人でのをやめて、日差しが良い日に散歩やジョギングを一緒にしなければならない。症状が激しい場合には、一定期間、強い光線に露出させる光線療法や抗うつ剤を投与する方法があり、精神科治療を受ける方法もある。アメリカで人気があった奇跡の錠剤の薬というプロザック（フルオキセチン）は脳で人間の感情を調節する神経伝達物質である幸福ホルモンと言われるセロトニンを増加させて、うつ病の治療の他に強迫性障害、対人恐怖症、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、パニック障害に強力な効果を現わし、一日に一回だけ服用する簡便性が長所と言われている。付随的に食欲抑制効果も、また強力だと言われている。

ところで、こういうものは、いますぐ苦しいから処方を受けて避ける、瞬間的であり、人工的な幸せだ。精神的な苦しみを解消するために薬の助けを受けるのは人間の知恵だが、心の苦しみを避ける道は、事実、どこにもない。精神的な苦しみがあって、自分で制御できなければ、だれでも医師の助けを受けなければならない。そして、すばやく神様のみことばに戻らなければならない。私の力で生きてきた経験を下ろして、私の知識で味わった自由を停止させて、神様がくださる本来の力とまことの自由を勝ち取らなければならない。本来の人間は自由だった。精神と心、考えと生活が何ともぶつからない定常の状態であった。サタンにだまされる前まではの話だ。しかし、全能さを持つという甘さに、完全さをあきらめた人間は、不完全の中で自分の力では勝つことができない戦いを死ぬまでするようになった。だれを恨まなければならないのだろうか。人間をだましたサタンが、今でも人間を継続してだましていて、宗教と制度を通して人間を支配しているからだ。どの宗教も、この事実を明快に話してくれない。耐えろと、欲を捨てろと言うが、道は教えてくれない。正確に話せば、道を知っていて教えてくれないのではなく、知らないためだ。

冬が来ている。季節の冬もくるが人生の冬も迫ってくる。季節性うつを体験するようになれば、青い色の奇跡の錠剤の薬を一日に一度口に入れて人工の幸せを味わうことはできる。必要ならば、当然そうすべきだ。しかし、一度だけの人生をそのように苦しみの中だけで生きるのではなく、永遠な幸せを事実として提供する福音の幸せをあなたはもう味わってもかまわないだろう。あなたは相変わらず神様の被造物で、今、息をしているならば、救われるのに十分な時間を持っているからだ。

チョン・ヒョングク（福音コラムニスト）

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ